

豊里支部です！



支部の特色は？

私たちの支部は、昔から住み続けており人の出入りが少ない地域、いろいろな地域から越してきた団地を中心とする地域等、小学校区により環境が大きく異なります。そのため、小さい頃から人間関係が固定していたり、人に目を向けることが少なく自分の周りに問題がないからまあいいやというような思いをもったりする子もいます。

本支部では、より豊かな人権感覚をもつため、例年、人権フェスティバルとして小中学校・地域が集まり、出会い学習等の人権学習をし、その後、人権フォーラムでより学びを深める流れをとってきました。

今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、あらゆる団体で各種行事が中止となっていました、「大切な人権学習は安易に中止でなく、対策を講じて行うべき」という津人教本部の考えにならない、本支部でも小中学校全体で集まっていた人権フェスティバルを中止でなく、各校での出会い学習と形を変えて取り組むことにしました。

そこで、9月2日にヒューリアみえの松村元樹さんを教職員人権研修会に招聘し、「差別を内包する社会ではすべての人が当事者である。～新型コロナ差別問題を中心に～」と題して講演をしていただきました。新型コロナに罹患した方への差別事象から、差別の構造を知り、これから子どもたちにどのような人権学習をしていくかの方向を示してもらった中で、「差別にはニュートラルな状態はない」「知らないからいいのではなく、マイノリティの立場の人たちが不利な状況に置かれていることを知らないといけない」等、子どもたちと共に考えていきたい話がたくさんありました。今後、参加者の思いをもとに、人権フェスティバル・人権フォーラム等を使って、子どもたちへの人権学習につなげていき、また、学習した子どもの思いを地域へ伝え、広げていきたいと思っています。

会員は教職員中心ですが、学習したことは地域に向けて発信することで、地域の人権啓発をすすめていきたいと思っています。



支部で大事にしていることは？

今年の豊里支部は「精選」をキーワードに取り組んでいます。

昨年度は豊里支部の立ち上げに取り組み、今年度は人権教育・人権啓発をすすめていくにあたって、より効果的に、かつ、抜け落ちがないよう組織や行事の見直しを行っています。

精選のための取り組みの1つに「月1回の事務局会の実施」が挙げられます。人権フェスティバル・夏季学習会・人権フォーラム等の支部行事の効果的な運営に向けた話し合いはもちろんの事、その時、その時の子どもや地域の様子を交流することで、お互いの地域の様子を知り、つながりを深めたいと思っています。

精選のための2つ目の取り組みは「情報の共有化」です。昨年度、組織が変わったことにより、各種行事・団体とのつながり方にも変化が出てきました。そこで、組織の動きを明文化することで、支部運営を誰でもできるように心がけています。また、事務局員は、グループメールを使用することで、情報を共有し、より意志や考えの深まりを目指そうとしています。

支部運営が煩雑にならず、必要な人権教育・人権啓発に十分な力が注げるように「精選」し、「自分が大好きで、仲間が大好きで、地域が大好きな子」の実現にむけて取り組んでいます。